

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	信濃支部	(2)記載者氏名:	原謙一	会員番号:	6385	事務局整理記入欄	信濃-7
分水嶺区分	E620スズラン峠~E625車山肩	(3)山行日:	2004年	11月	14日	(4)天候:	曇り時々晴れ

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

原謙一	6385	小口秀男	13646	中島忠	6457		
財津達弥	12334			金子丞二	6511		
小山内庸人	13501						
有賀良夫	13644						
計			5名	計			2名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	霧ヶ峰→車山→鷲ヶ峰												
アプローチ:	霧ヶ峰→車山→鷲ヶ峰												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	スズラン峠園地駐車場												
分水嶺到達点E620	スズラン峠	蓼科山	138	16	50	36	5	5	1,737		6:37		
E621	八子ヶ峰ヒュッテアルピレオ	蓼科山	138	16	31	36	5	9	1,870	6:58	7:05	A-1	
	南白樺湖すずらん湯	霧ヶ峰	138	14	11	36	6	3	1,502	8:58	8:59	A-1	
E624	大門峠	霧ヶ峰	138	14	4	36	6	37	1,436	9:10	9:20	A-1	
	車山山頂	霧ヶ峰	138	11	51	36	6	10	1,934	11:45	12:10	A-2	
E625	車山肩	霧ヶ峰	138	11	13	36	6	14	1,809	12:45	13:10	A-1	
分水嶺離別点	車山肩	霧ヶ峰											
歩行終了点	車山肩	霧ヶ峰											
総歩行時間(休憩時間を除く):												6時間20分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E621	八子ヶ峰ヒュッテ	4	南	良好	
	持栗沢ノ頭付近			破損	側面の文字は解読不明
	車山山頂			未確認	広い山頂中央にパラボランテナ用大きな建物あり。三角点は皆で探したが確認できず。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

ビーナスライン他道路が作られ、スキー場やその駐車場が多い。武田信玄が棒道と名付け整備した軍用道路上にある大門峠頂上は現在ビーナスラインが走っている。

(9)水および植生に関連した特記事項

八ヶ岳中信高原国定公園内に位置する八子ヶ峰と車山。八子ヶ峰は草原状のなだらかな山で、スズランやレンゲツツジなどが生息している。中仙道和田峠から大門街道大門峠間の、標高1000m以上・南北16km・東西10kmの範囲内を霧ヶ峰と呼び、その主峰が車山である。車山は江戸時代頃まではモミやサワラ或いはミズナラの針葉樹や広葉樹が広く生息していたが、馬や牛の生産ため牧場や採草の地となり、又、生活に必要な材としての伐採や火入れが行われ、現在の草原状になったといわれている。しかし最近では採草や火入れが行われなくなり、樹林化による植生が問題となりつつある。
降水量は平均1300mmで、比較的晴天日の多い反面、定点観測で、霧の発生日が300日近い確認があり、江戸時代より呼ばれてきた霧ヶ峰にふさわしい状況といえる。車山を構成する岩石は、車山上部には カンラン石・角閃石・斜方輝石・単斜輝石等がマグネシウム・カルシウム等のミネラル分で、飲料水としての評価が高く、動植物の生命の源といえる。

(10)その他の特記事項

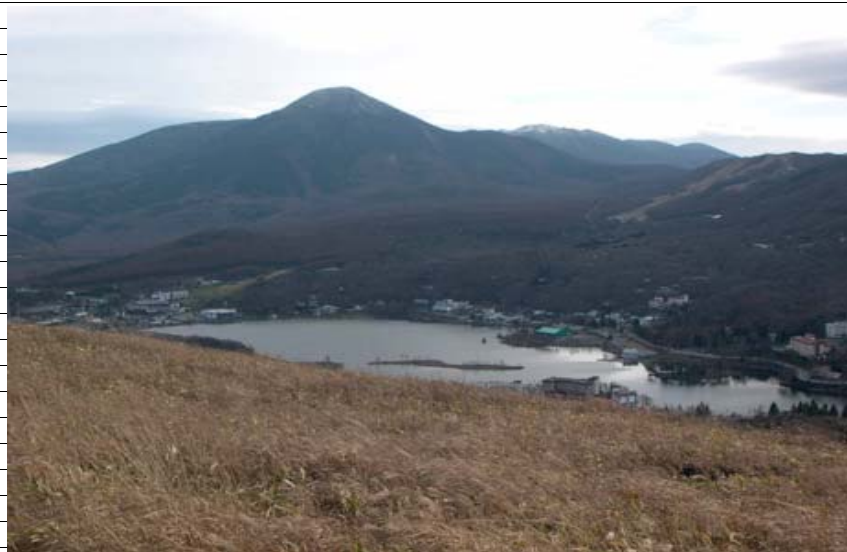
大門峠は、和田峠の東にのびる鷲ヶ峰、車山の稜線が八子ヶ峰に続く鞍部にあつて、和田峠と同じ地質に属している。この和田峠は旧石器時代に入々が、鏃に使う黒曜石の産出地として名高い。その地を長く支配下におさめてきた諏訪氏には、信濃路の攻略をはかる武田氏の存在が大きな驚異であった。実際信玄は信濃(長野県)を攻めるため、甲六川を渡り富士見町・原村を経て、茅野市蓼科あたりを通り、白樺湖近くのこの大門峠を越えて、目的地の北信濃つまり長野盆地に通じる棒道という名の軍用道路として作ったといわれている。そして1555(弘治元)年から永禄8(1565)まで、5回に及ぶ上杉軍との戦いのたびに信玄軍はこの大門峠を激しく往来したといわれている。
---

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
No.1 大門峠から車山山頂に向かう途中からの蓼科山と白樺峠
No.2 武田信玄が棒道と名付け整備した軍用道路上にある大門峠頂上は現在ビーナスラインが走っている。

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



No.1 大門峠から車山山頂に向かう途中からの蓼科山と白樺峠



No.2 武田信玄が棒道と名付け整備した軍用道路上にある大門峠頂上は現在ビースラインが走っている。